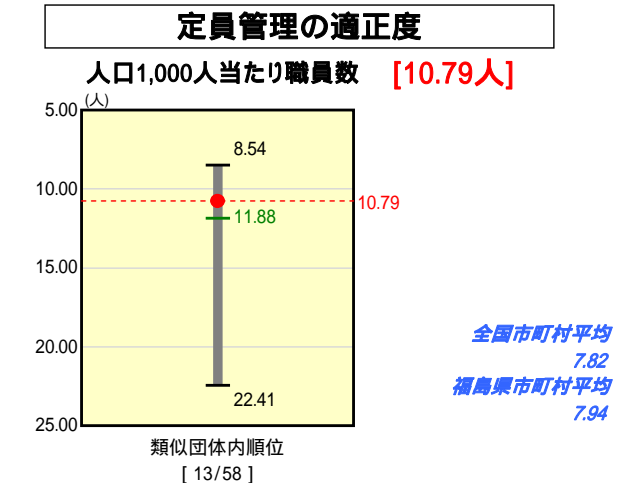
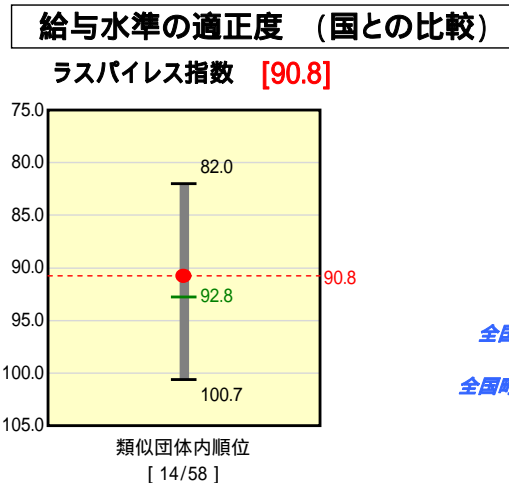
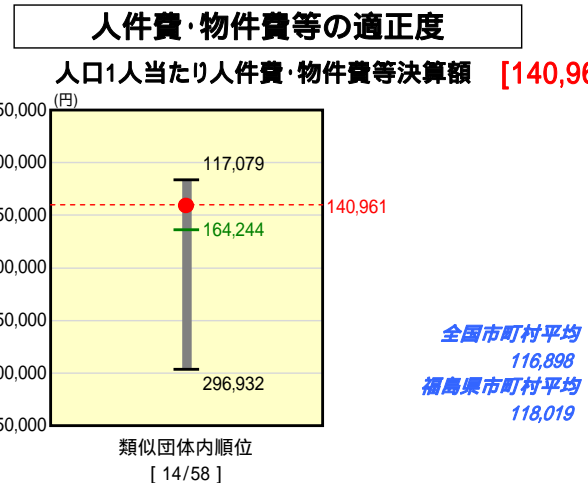
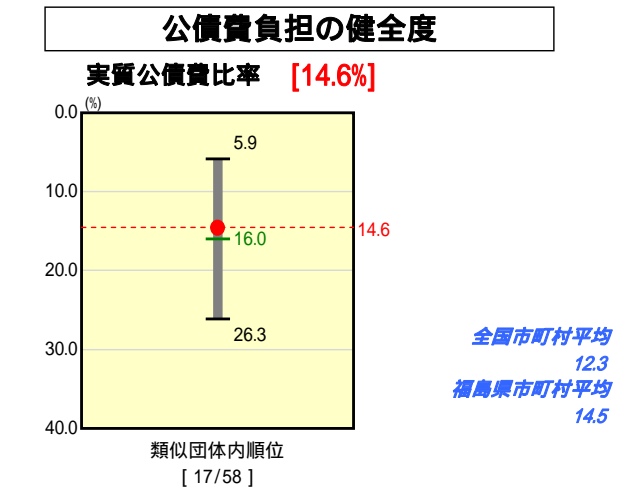
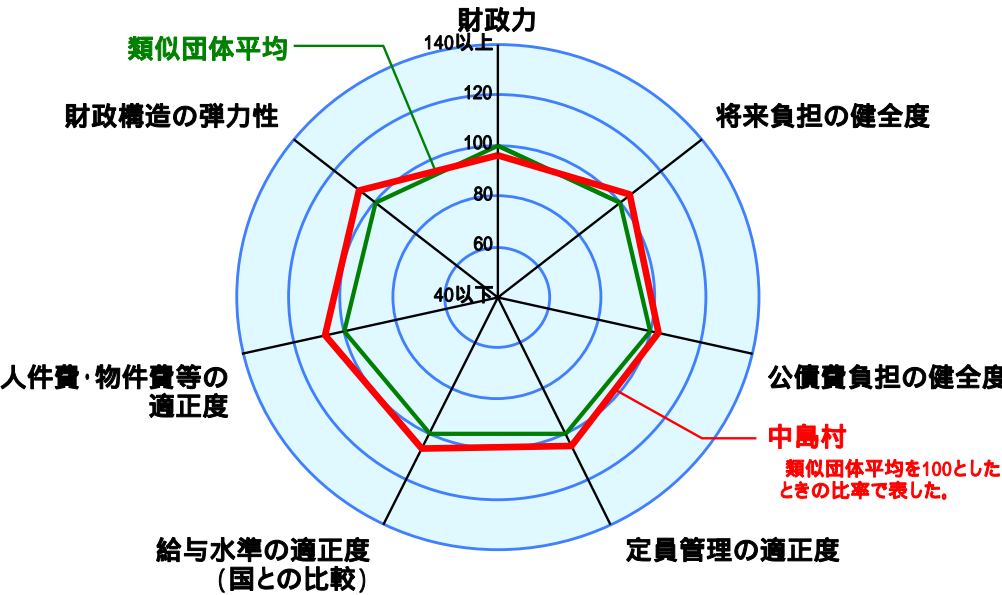
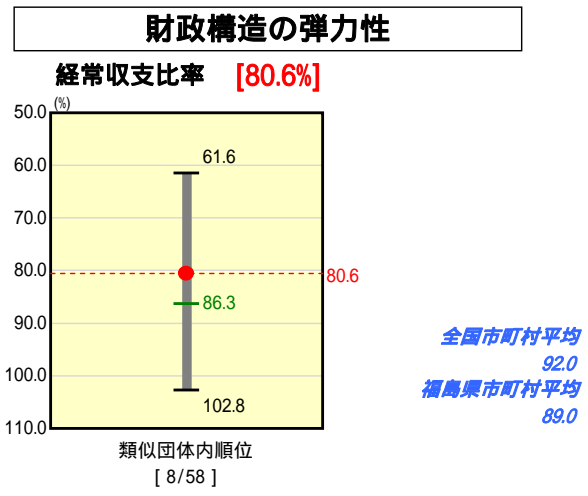
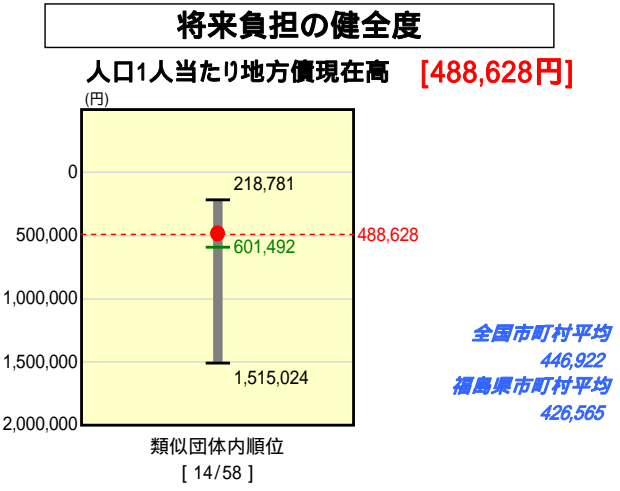
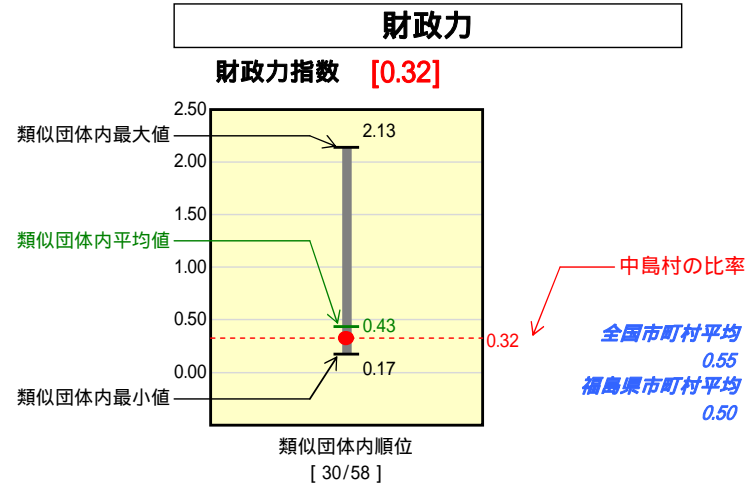


市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

福島県 中島村

人口	5,374人	(H20.3.31現在)
面積	18.91	km ²
歳入総額	2,416,109	千円
歳出総額	2,302,454	千円
実質収支	113,655	千円



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。
 平成20年4月1日以降の市町村合併により消滅した団体で実質公債費比率を算定していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。
 ラスバイレス指数及び人口1,000人当たり職員数については、平成19年度地方公務員給与実態調査に基づくものである。なお、平成19年度中に市町村合併を行った団体については、当該項目に係るデータのグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。

人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

財政力指数
 財政力指数は0.32と類似団体平均を下回っている。今後も定員管理・給与の適正化等(平成18年度以降の5年間で5人、7.5%減)による歳出削減を実施するとともに、村税の滞納額の圧縮などを通じて、財政基盤の強化に取り組む。

経常収支比率
 平成7年度から平成15年度まで剰余金を利用し、繰上償還(781,281千円)を実施したことにより公債比率が減少傾向にある。また、平成14年度から実施している特別職等の給与カット(特別職10%(村長のみ平成18年度から20%)、議員5%)(平成14年度以降の累計で22,223千円)したことにより類似団体平均を下回っているが、福祉関係経費(扶助費)が年々増加(平成15年度と比較すると32,926千円)していることから、全ての事務事業の優先度を厳しく点検し、優先度の低いものについては、計画的に廃止、縮小を進め、経常経費の節減を図る。

人口1人当たり人件費・物件費等決算額
 平成13年度から平成19年度までの退職者20人、新採用8人と退職補充を抑えたことが類似団体平均を下回っている。

ラスバイレス指数
 平成13年度から平成19年度までの退職者20人、新採用8人と退職補充を低く抑えたこと、職員定数の15%以内の範囲で認められている特別昇給を行っていないことにより類似団体に比べ低い水準にある。今後とも人事院勧告を尊重

給与の適正化に努める。
人口1人当たり地方債残高
 平成7年度から平成15年度まで剰余金を利用した繰上償還(781,281千円)を実施したことにより、類似団体平均を下回っている。

実質公債費比率
 平成7年度から平成15年度まで剰余金を利用し、繰上償還(781,281千円)を実施したこと、また、近年は大規模な起債対象事業を抑制してきたことが実質公債費比率14.6%と類似団体平均を下回っている。

人口1,000人当たり職員数
 人口1,000人当りの職員数は類似団体を下回っている。平成18年4月1日から平成22年4月1日までの定員については、過去5年間の全国自治体の削減比率の平均である5%を目標とし、退職者の不補充等により平成18年度以降で5人(7.5%減)を目指し職員削減に努める。